

# 基礎調査実施手法

## (1)地域特性調査等 ※工程表①に対応 (9月下旬～11月下旬)

【計画策定に資する基礎調査】 ※企画書ご提示内容から解説

- 自然条件（気温、降水量、日照時間等）、社会条件（人口、産業、社会基盤等）の項目を踏まえ、総合計画をはじめ、各種関連計画等との整合性を図りつつ整理



・政府統計 e-stat、RESAS、その他環境関連データ等、公開されたデータから取得  
・久御山町独自で保有しているデータをご提供

- 地球温暖化対策実行計画「区域施策編」・地域気候変動適応計画の計画策定にあたっては、「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル（本編・地域脱炭素化促進事業編）」「地方公共団体における長期の脱炭素シナリオ作成方法とその実現方策に係る参考資料」及び「地域気候変動適応計画策定マニュアル」等を踏まえ策定

- 再生可能エネルギーや環境問題に関する国際的な動向、国・府の関連計画等を整理

- 省エネの導入状況やポテンシャルは、資源エネルギー庁「固定価格買取制度 情報公表用ウェブサイト」や環境省「再生可能エネルギー情報提供システム（REPOS）」、環境省「環境アセスメントデータベース（EADAS）」等より情報を整理



・国、京都府が公表している資料を基に作成

- 二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出量については、環境省「自治体排出量カルテ」により久御山町のCO<sub>2</sub>排出量や再生可能エネルギーの導入量の推移等を把握。加えて環境省「地域経済循環分析」を参照し、部門別のCO<sub>2</sub>排出量の動向等を把握するとともに、「エネルギー・経済統計要覧」や各種統計データから活動量の詳細を把握。



・環境省「自治体排出量カルテ」、「地域経済循環分析」、「エネルギー・経済統計要覧」等から把握

- 近隣自治体や類似自治体の取組事例の収集



・当社が蓄積している事例等から趣旨に合わせて収集

○グーグルアースを活用した、太陽光の導入可能性を調査・マッピングの実施



・公共施設を中心とし、行政・商業・事業所等の機能が集積するシビックゾーンにおける太陽光発電パネル設置シミュレーションを行い、再生可能エネルギーによる発電量を算出



(2)環境意識調査 ※工程表②に対応 (9月下旬~1月下旬)

環境政策は客観的な統計数値だけでは進捗状況が把握しにくい面があるため、「住民・中学生、事業所の意識や行動がどう変化したのか」を把握し、回答者の環境に関する実感や実態を分析・把握することを念頭に置き、アンケート調査を実施します。

- 「自分事」「環境に対する住民の意識」「環境配慮行動」の視点を踏まえる
- 近年の社会潮流や新たに計画に盛り込む内容を考慮する
- 関連計画との比較等を行い、相対的に環境意識を把握する

①調査概要

【住民アンケート調査】

対象	18歳以上人口(平成22年国勢調査12,290人)
調査方法	郵送配布・回収、WEB回答
調査規模	2,000件
備考	調査対象者の抽出をお願いします

【久御山町】母集団の数 = 12,290

母集団の大きさ	12,290	12,290	12,290	12,290	12,290	12,290
サンプリング誤差±	2	2.5	3	3.5	4	6
母集団の回答率	45	45	45	45	45	45
信頼度係数	1.96	1.96	1.96	1.96	1.96	1.96
必要サンプル数	1,992	1,354	973	730	567	259

誤差が小さい

誤差が大きい

※サンプリング誤差は±4~5で推移したとしても社会調査としては成立することとなる。

### 【中学生アンケート調査】

対象	久御山町内の中学生
調査方法	中学校を通じた配布・回収は高い回収率が見込める ※タブレットを活用したアンケート調査を検討(学校教育課と要調整)
調査規模	476件(平成22年国勢調査13歳~15歳人口)
備考	調査対象者の抽出をお願いします



・中学生へのアンケート調査の協力依頼・調査件数・実施方法はご検討が必要です。

### 【事業所アンケート調査】

対象	町内総事業所数 1,660 事業所(平成18年度事業所・企業統計調査)
調査方法	シルバー人材センターによる個別配布・郵送回収、WEB回答
調査規模	シルバー人材センターによる個別配布が可能な1,323社 (「産業部門」「業務その他部門」に該当する企業等を想定)
備考	調査対象者の抽出をお願いします (上記「調査規模」をふまえ、調査対象と一緒に検討させていただきます。また、商工会を通じた調査対象の抽出も想定)



・当社の策定実績である久御山町男女共同参画計画において、事業所調査はWeb調査を実施しています。

## ②調査票おける工夫

### アンケート調査を情報提供・啓発ツールとして位置づけます

環境保全を進めるうえで、住民の意識、行動の変容が最も重要であるため、様々な機会を通じて啓発を行っていくことが必要です。

当社では、今回の調査を重要な周知・啓発の機会と捉えており、調査票の裏面や空きスペースなどに環境情報等の掲載をご提案します。

#### ◆啓発コラム掲載イメージ

**eco 生物多様性とは?**  
わたしたちは、地球という一つの星の上で、多くの生き物と共に暮らし、支え合い、水や空気、食料など「自然のめぐみ」を利用することで豊かな生活を送っています。自然の中で暮らす多様な生き物たちは、おたがいにえいぎょうしあい、つながり、共生しています。わたしたちは、将来も「自然のめぐみ」を後継ぎと共生する社会

**eco 毎日の生活の中で、こんなに二酸化炭素が出ている!**  
資料：環境省環境アセスメントオフィス 全国地球温暖化防止活動推進センター ※1年層1世帯あたりの二酸化炭素排出量です

水漏れから	2.0%	風呂・洗濯機排水から	36.2%	エアコンから	12.4%
給湯から	12.8%	車から	23.7%	冷蔵庫から	1.1%
給湯から	4.7%	ゴミから	5.6%		

専門用語の「SDGs」や「気候変動への適応」等の啓発も可能です。

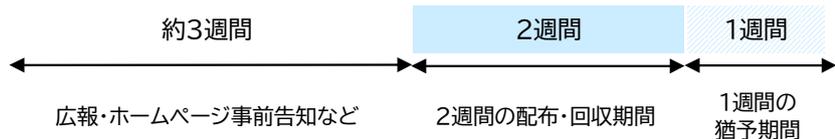
# 回収率向上に向けたご提案

アンケート調査の信頼度を高めるためには、わかりやすく誤解のないアンケートとすること、より多くの回答を集めることが重要です。

**STEP1**  
調査期間の設定

### 調査期間は長すぎず、短すぎず

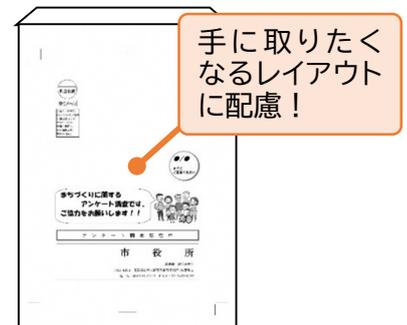
締切日は配布から2週間後に設定し、その後1週間を残りの回収状況の様子を見る期間に設定し、必要回収率を確保できるようにします。



**STEP2**  
調査票開封

### まずは、封筒をあけていただくところから！

調査そのものに興味を持っていただき、封筒をあけていただくことが、回収率向上に向けた第一歩です。封筒自体のデザインを工夫し、役所からの文書として処理されるのではなく、「自分事」として捉えてもらえる工夫をします。



**STEP3**  
調査開始

### 調査に「協力しよう」と思っただけのために

調査票全体を通じて、文字ばかりの設問文+回答欄ではなく、イラストやアイコンを用いることで、楽しみながら回答できる工夫を行います。

**STEP4**  
投函

### Web 回答

忙しい方がいつでも回答できるため、共働き世帯や若い世代からの回収率向上が見込めます。

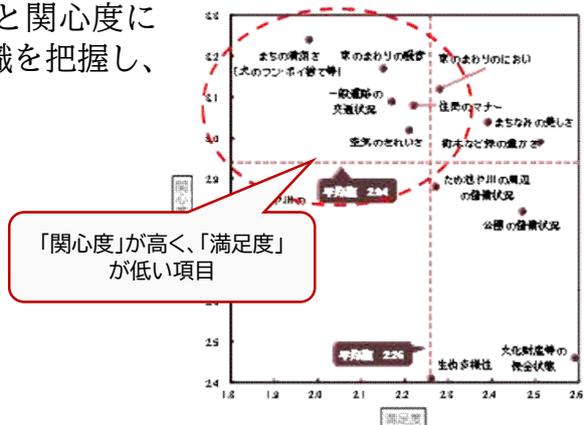
### ③分析における工夫

#### クロス集計による分析

アンケートの結果については、単純集計及び年齢別・地域別・世帯別によるクロス集計を行い、各属性が持つ特徴や傾向を導き出します。問いをたてて項目を検討することで、効率的に作業を進め、住民の特性を掘り下げて分析するための根拠となる資料を作成します。

#### 散布図を用いた分析

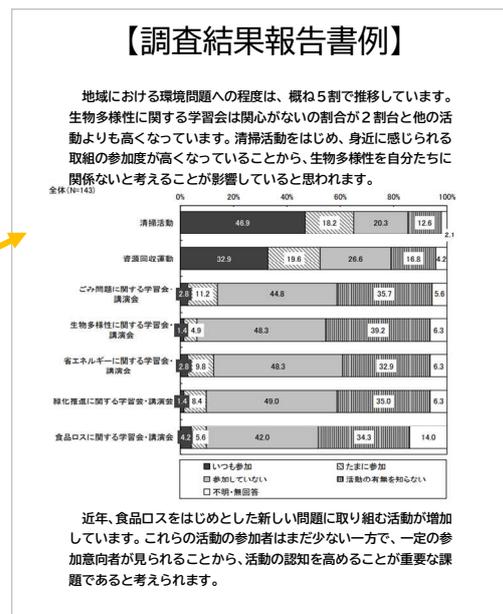
住民の環境に関する各項目への満足度と関心度については、散布図を使いながら、住民の認識を把握し、施策立案に向けた検討資料とします。



#### 調査報告書作成の工夫

調査結果報告書は、計画策定の基礎資料とし、わかりやすく見やすいものとなるよう作成します。また、調査結果とそこから見える課題・方向性としての結果のまとめを記載し、施策反映を意識しながら作成します。

調査結果をとりまとめ、  
計画策定や施策の検討  
に活かします



### (3)課題整理の手法 ※工程表③に対応（12月上旬～1月下旬）

#### 統計・調査結果等を体系立てて、課題を把握

統計や各種調査から基本目標ごとに強み・弱み・機会・脅威を整理するとともに、マトリックスで一覧化します。複数の分野を並べ、多角的に検討し、次期計画で必要な取組、分野を横断した取組の検討につなげます。

#### 【現計画の施策体系ごとの各種意見・情報の反映（例）】

基本目標	強み	弱み	機会	脅威
生活環境	公園が充実している	…	ごみ処理広域化	災害の増加
自然環境	…	外来種の生息	住民アンケートで…	…
地球環境	…	…		温暖化の進行
環境学習	学校での教育充実	活動の担い手不足	SDGsの普及	…

